

石上神宮(天理市)

いそのかみじんぐう

ここが石上神宮/物部氏の総氏神とされる



周辺は古墳密集地帯であり、七支刀(国宝)や環頭太刀柄頭(重要文化財)などが神庫に収蔵されている



七支刀について

(表面) 泰四年(□□)月十六日丙午正陽造百練鉤七支刀□□百兵供侯王□□□□ (裏面) 先世以来未有此刀百濟□世□奇生聖音故爲倭王旨造□□□世

(表面) 泰四年(□□)月十六日丙午正陽造百練鉤七支刀□□百兵供侯王□□□□

(裏面) 先世以来未有此刀百濟□世□奇生聖音故爲倭王旨造□□□世



http://www.isonokami.jp/about/c4_2.html

石上神宮公式サイトより

謎の四世紀を解明する資料として重要視される/四世紀半ば、高句麗の南下に対応した倭国と百濟との軍事同盟を物語るという

西廻廊(左手前)、楼門、東廻廊(右奥)を見たところ



正面が楼門/重要文化財/鎌倉時代(1318年)建立



右手上方から見たところ



その右手を見る/正面奥の建物が拝殿



これがその拝殿/国宝/鎌倉時代初期の建立



拝殿正面/かつては本殿がなく、拝殿後方の禁足地の中央を主祭神としていたが、明治時代にその禁足地が発掘されると伝承通りに御神体(神剣)が出土したことで、大正時代にその場所(拝殿後方)に本殿を建立したという



拝殿





境内を見たところ/左手が拝殿、右手が楼門



楼門を境内側から見たところ



元々は鐘楼門であつたらしい/上層は三手先、下層は二手先/木鼻には大仏様の繰り型が見られる





楼門の天井



同様



道を挟んで楼門の反対側を見たところ





榎社

天神社 (西面)

御祭神 高皇產靈神

七座社 (北面)

生産靈神 足産靈神

御祭神 魂留産靈神 大宮能志神

御膳都神 辞代主神

大直日神

由緒 右二社生命守護大神等
坐古来当宮鎮魂祭開休
深以上古鎮座給所

左奥が天神社/右手前は七座社/いずれも撰社



天神社



七座社



前方左手が出雲建雄神社/右奥は猿田彦神社



これが出雲建雄神社/撰社/延喜式内社



これが猿田彦神社/末社



そこから振り返ると出雲建雄神社拝殿が見える/中央に一間の「馬道」と呼ぶ通路を開く割拝殿形式



国宝/石上神宮発行のパンフレットによると平安時代(1137年)建立らしいが、鎌倉時代(1300年)建立ともいわれる



ここは石上神宮鏡池



天然記念物 石上神宮鏡池のワタカ

昭和二十八年三月二十三日指定

ワタカは、日本特産の魚で、琵琶湖及びこれに接続する淀川水系に産する鯉科の淡水産硬骨魚である。体は細長く側扁し、腹びれ基底から肛門までの腹縁部は竜骨状の隆起縁を形成する。頭は小さく眼は大きい。口は眼より前方にあり、やや上に向く。胸びれ、背びれ、尻びれの前縁部は概して長い。体色は銀白色で、背部は緑青色である。体の側線は完全に下方に強く湾曲する。成熟した雄では、顆粒状の追星が頭部、背面、胸びれにあらわれる。ヨシ場を主な生息場所とし、琵琶湖では湖南、湖東の沿岸や内湖に生息する。河川では下流域の「わんど」（入江）や、流れのほとんどない水路に多い。水草を主体とする雑食性である。

産卵期は六月～八月で日本産鯉科魚類のなかでは最も高い22～25℃の水温で、主として降雨後の夜間に産卵する。雌雄とも二年で成熟する。

奈良県下では、石上神宮鏡池のほか、東大寺鏡池に棲息する。

平成四年三月

奈良県教育委員会

こんな感じ



参考ホームページ

<http://www.isonokami.jp/map/index.html>

<http://www.omiyasan.com/other/post-211.php>

<http://masayan-ei.sakuraweb.com/blog/2015/09/04/isonokamijingu/>

<http://small-life.com/archives/08/03/0720.php>

<http://www.kokuhoworld.com/079.html>

<http://bell.jp/pancho/travel/yamanobe/isonokami.htm>

<http://www.y-morimoto.com/jinja22/isonokami.html>

http://www.genbu.net/data/yamato/isonokami_title.htm

<http://mononobe.webcrow.jp/tabi/isonokam/index.html>

